

名曲にひそむ真実の愛が
今、語られる——

はつ恋

— ヨゼフィーナとドヴォジャーク ペトロフが奏でる愛の詩^{うた} —

ソプラノ 大塚 真弓
ピアノ 河合 珠江
語り 栗塚 旭

脚本 林 信蔵・河合 珠江
技術 外村 雄一郎

日時 2014年6月10日(火) 会場 京都芸術センター 講堂
19:00開演(18:30開場) 料金 前売3,000円 当日3,500円(全自由席)

主催：ボヘミア・ミュージック・ソサエティ
共催：京都芸術センター
協賛：アマデウス音楽協会
協力：京都市立芸術大学キャリアアップセンター

お問い合わせ ボヘミア・ミュージック・ソサエティ 090-3721-9878
チケット取扱：アマデウス音楽事務所 075-314-1928
チケット取扱：京都芸術センターチケット窓口 (10:00~20:00)

1865年、プラハ仮設劇場のヴィオラ奏者であったアントニン・ドヴォジャークはピアノの出張レッスンを頼まれ、金属細工商チェルマーク家へと出向く。そこで出会った二人の娘、ヨゼフィーナとアンナ。ドヴォジャークは一目で女優志望の姉ヨゼフィーナに心を奪われる。しかし、彼女には婚約者がいた…。

そして時は1904年。病床にあるドヴォジャークは、妻アンナとの娘オティーリエに向けて、ヨゼフィーナとの初恋の思い出を語り始める。

愛するということ—その歓びと苦悩。歌曲集「愛の歌」に込められた密やかな愛の真実が、銘器ペトロフの音にのせ、いま解き明かされる!

出演者プロフィール



河合 珠江(ピアノ・脚本)

大阪府立夕陽丘高校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程を最優秀で修了。その後、同博士課程に進学し、チェコの作曲家 J.L. ドゥシークについて研究を行い、同大学で初めて器楽領域での博士号を取得した。博士論文は『ヴィルトゥオーソの先駆としてのヤン・ラディスラフ・ドゥシーク—ピアノ・ソナタの技巧性』。これまで大阪、京都を中心に、海外ではプラハ、チャスラフ、ネラホゼヴェス(チェコ)、瀋陽、長春、ハルビン(中国)等で多数の演奏会に出演。2012年京都芸術センターにおいて、チェコの銘器ペトロフを用いた朗読劇「君を待つ—カミラとヤナーチェク」、およびリサイタル「ドゥシーク × ペトロフ」を成功させた。ピアノを K. ヒリンスカ、上野真の両氏に師事。チェンバロを亀谷喜久子氏、フォルテピアノを J. トゥーマ氏に師事。ソロのほか伴奏や室内楽、新曲初演、レクチャー等幅広い演奏活動を行っている。2008年度なにわ新人奨励賞受賞。京都西山コーラルアカデミー、京都シティーフィル合唱団ピアニスト。アマデウス音楽教室講師。



大塚 真弓(ソプラノ)

奈良県出身。京都市立芸術大学音楽学部音楽学科声楽専攻を卒業、卒業演奏会に出演するとともに、奈良市新人演奏会、奈良県新人演奏会にも出演。その後、京都市立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻を修了。在学中にオペラでは、「トロメイ家のピーア」 ピーア、「愛の妙薬」アディーナ、「夢遊病の女」リーザ役などを演じた。また、在学中からドヴォジャークやスメタナといったチェコ人の作曲家による作品を取り上げ、チェコ語による演奏を身上とし、様々なところで研鑽を積んでいる。第13回KOBEBE国際学生音楽コンクール、大学・大学院の部において、優秀賞ならびに神戸市民文化振興財団賞受賞第19回友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール、学生の部入選。これまでに湯浅契、湯浅富士郎、菅英三子、上野洋子の各氏に師事。チェコ語のディクシオンを Miko Michael、中村真の各氏に師事。現在、関西歌劇団準団員。



栗塚 旭(語り)

1937年、札幌市生まれ。15歳で京都に移住。洛北高校卒業後、57年、毛利菊枝主宰の劇団「くるみ座」に入る。「ベニスの商人」などの舞台に出演する一方、65年司馬遼太郎原作のテレビドラマ「新選組血風録」で土方歳三役を演じ、一躍スターダムに上がった。同年、松竹映画「おはなはん」で新人賞受賞。「春日和」、「女の一生」等の映画に出演しながら、「われら九人の戦鬼」、「俺は用心棒」、「風」など数々のテレビ時代劇に登場し、70年再び「燃えよ剣」の土方役で人気を不動のものとした。長谷川一夫や美空ひばりと舞台で共演し、松平健の「暴れん坊将軍」山田朝右衛門役でも人気を博した。2004年にはNHK大河ドラマ「新撰組!」で土方歳三の兄役で出演。05年に藤村志保と映画「二人日和」で競演し、05年度ドイツ・フランクフルト映画祭でジャパン・コネクション・グランプリを受賞。その後、「カルミナ・ブラーナ」(京都コンサートホール)、「ジプシーの歌」(長岡京記念文化会館)、「冬の旅」(大阪・ザ・フェニックスホール)の朗読など、精力的な活動を続けている。今年は映画「蠢動」が全国で公開されている。

林 信蔵(脚本)

1979年京生まれ。京都大学博士。専門は、比較文学、比較芸術論。西洋文明の日本における影響や文学創造と作家の音楽受容との関係などを主な研究テーマとしている。主要な著作として『永井荷風：ゾライズムの射程—初期作品をめぐって—』(春風社 2010年)、「帰国の前奏曲—永井荷風『黄昏の地中海』における音楽作品に対する言及をめぐって—」(『比較文学』第五巻 2012年)などが存在する。現在、京都大学他非常勤講師。

京都芸術センター

KYOTO ART CENTER

〒604-8156

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2

TEL:075-213-1000 FAX:075-213-1004

URL: <http://www.kac.or.jp>

地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」
22番・24番出口より徒歩5分。

駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

